2024年11月18日

各　位

会 社 名　　株　式　会　社　ニ　ッ　ソ　ウ
代表者名　　代 表 取 締 役 社 長　　前　田　　浩
（コード番号：1444　東証グロース市場・名証ネクスト市場）
問合せ先　　取 締 役 管 理 部 長　　北 村　　知 之
（TEL. 03－3439－1671）

OSK Holdings Berhad（マレーシア）とのMOU締結のお知らせ

当社は、マレーシアのコングロマリット（複合企業）OSK Holdings Berhad（以下、「OSK」という。）と、不動産事業において包括的に業務提携することを基本合意し、本日マレーシアに於いてMOU（Memorandum of Understanding）を締結しましたので下記の通りお知らせいたします。



記

１.MOU締結の背景及び内容

OSKはマレーシアとオーストラリアの両国で大規模な不動産開発をおこなっている企業です。マレーシアは住みやすい環境、安定した経済などから、昨今インターナショナルスクールやグローバル教育の渡航先として注目されており、特にロングステイ財団の行ったロングステイ希望国ランキングにおいて15年連続No.１（2006～2023年、2020～2022年は調査無し）を獲得するなど、日本の幅広い世代に高い評価を受けています。

また、オーストラリアのメルボルンは歴史的な面と近代的な面の調和が取れており、さらに自然や四季の変化などが楽しめるといった様々な魅力があることから、英誌エコノミストによる世界一住みやすい都市ランキングで過去７年連続No.１（2011～2017年）を獲得するなど、世界中から高い評価を受けています。そのようなメルボルンにおいて、現在OSKが開発を進めているMelbourne Squareは総工費28億豪ドル（約2,800億円、１豪ドル＝100円で換算）のビッグプロジェクトで、EPF（マレーシア政府の年金基金）が49％の出資を行うほどであります。（なお、残りの51％をOSKが出資しています）

今般、当社グループが不動産事業においてOSKとMOUを締結することにより、このMelbourne Squareを含め、OSKがマレーシアとオーストラリアで開発を進めている不動産物件を日本で紹介することができるようになります。

さらに、OSKは複数業種にまたがるコングロマリットであり、不動産関連事業以外も活発であるため、同社とのMOUを締結することにより、アジアを中心とした国際ビジネスのさらなる拡大が期待できます。

２.OSK について（ご参考）

会　　社　　名	OSK Holdings Berhad
代　　表　　者	Executive Chairman Tan Sri Ong Leong Huat（丹斯里黄宗华）
所　　在　　地	Plaza OSK, Jalan Ampang, 50450 Kuala Lumpur, Malaysia
設　　立	1963年
事　業　内　容	不動産事業、金融業、建設業、工業、ホテル・リゾート事業等
従　業　員　数	約2,000名
上　場　市　場	ブルサマレーシア・メインボード
時　価　総　額	RM3,289.62mil（約1,151億円）　※１
収　　益	RM1,587.82mil（約555億円）前期比20％増　※２
当　期　純　利　益	RM466.95mil（約163億円）前期比14％増　※２

※１　2024年11月15日時点、１リンギット＝35円で換算
※２　2023年12月期決算時点、１リンギット＝35円で換算

３.今後の見通し

本件は中長期的に当社グループの業績向上に資するものと考えておりますが、2025年７月期の業績予想に変更は生じない見込みです。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以上